

# 南紀熊野ジオパーク研究助成金募集要領（第2期）

令和元年 5月 7日

南紀熊野ジオパーク推進協議会

本助成金は、南紀熊野ジオパークにおける調査及び研究活動を支援し、ジオパーク活動の活性化及び南紀熊野地域の地質現象の解明に資することを目的として、公募します。

公募期間は、令和元年6月21日までとし、予算の範囲内で2件程度、選定します。

## 1 助成対象研究

南紀熊野ジオパークのエリア内のジオサイト等を研究対象とする次に掲げる分野のいずれかの調査研究で、助成開始から3年以内に成果を公表できる見通しをもつ研究とします。

ア 地理学関連（04010）	カ その他、会長が関連性を認める分野
イ 地球人間圏科学関連（17030）	
ウ 固体地球科学関連（17040）	
エ 地球生命科学関連（17050）	※括弧内の数字は、科学研究費助成事業の
オ 地盤工学関連（22030）	細目番号

## 2 助成対象者

(1) 申請者は、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）修了以上の学歴を有する者、またはその者で構成されるグループとします。

(2) その他の要件

- ・助成金の交付決定を受けた年度の3月15日までに実績報告書を提出できる方
- ・助成を受けた年度において、南紀熊野ジオパークの関連イベントに年1回程度、協力していただける方（時期、内容については応相談。）
- ・研究で得られた成果の発表で、「国際的な学術誌への投稿」又は国際的な学会で発表できる方

(3) 申請は研究代表者が行ってください。

## 3 助成金について

(1) 助成金の額

予算の範囲内で、1件あたり最長3年間（年度単位で更新あり）で最大500万円

※収支予算書については、単年度毎（交付決定から翌年の3月31日まで）で年度毎の作成が必要となります。

※ただし、1年目150万円、2年目200万円、3年目150万円を上限とします。

(2) 助成対象となる経費

直接経費及び間接経費（科研費ハンドブック（研究者用）P11-P13を参照）

間接経費については、直接経費の30%以内の額とします。

(3) 助成率 10/10

#### 4 応募方法、締め切り

以下の書類を令和元年6月21日までに持参又は郵送にて提出してください。

郵送の場合、当日消印有効とします。

- (1) 応募申請書（別記第1号様式）
- (2) 南紀熊野ジオパーク研究助成事業計画書（研究に要する期間を全て含むこと）
- (3) 収支予算書（年度毎に作成）
- (4) 代表研究者略歴
- (5) 研究機関の在籍に係る証明書、または学位を証明できる書類
- (6) 当該研究に関わる者の名簿（グループの場合のみ）
- (7) 資金適正管理についての誓約書（公的研究機関に在籍していない方のみ）

<申請・問合せ先>

〒640-8585

和歌山県和歌山市小松原通1-1

和歌山県庁自然環境室内

南紀熊野ジオパーク推進協議会 事務局

Tel 073-441-2690 FAX 073-433-3590

担当：福村 E-mail:fukumura\_s0001@pref.wakayama.lg.jp

#### 5 審査

審査会を開催し、南紀熊野ジオパーク推進協議会会長が、助成金交付を決定し、令和元年7月に通知します。

#### 6 概算払い

審査結果を受けて、採択する研究に対し交付決定の通知をします。

概算払請求書（別記第2号様式）により、研究機関に対して支払います。

#### 7 実績報告

助成を受けた年度の3月15日に下記の書類を添付し、実績報告書を提出してください。

- (1) 実績報告書（別記第3号様式）
- (2) 収支決算書（要領収書の写し）
- (3) 報告書提出時点での研究成果をまとめた報告書、又は論文、学会発表資料等

#### 8 その他

- ・助成金の交付に関する詳細は、「南紀熊野ジオパーク研究助成金交付要綱」による。
- ・助成金の交付を受けた研究については、所属、氏名、研究テーマ、要旨等の項目及び論文等を南紀熊野ジオパーク推進協議会のHP等で公開します。
- ・本助成金を使って行われた研究の成果を学会で発表するときや学術誌等に投稿する際は、研究に本助成金を使用した旨を明記してください。

【和文例】本研究は南紀熊野ジオパーク研究助成を受けたものです。

【英文例】 This work was supported by Nanki Kumano Geopark Research Grant Program.

また、可能な範囲で、南紀熊野ジオパークのロゴマークを使用してください。